

補習校で無理なく使える ICT の知恵を

11月2日

1. これまでの取り組みについて

・グループ1 ICTを活用した授業（オンライン授業、対面授業、ハイブリッド授業）で、先生方や児童生徒がアプリを使った実践を行い紹介する。

ハイブリッド授業等で「ラウンジ」というアプリを使って授業を行っており、これからもいろいろなアプリを使った実践を積み重ねていきたい。

ハイブリッド授業をしていることで、遠距離のため補習校に通えなかった子どもも学習を継続できている。また、不登校気味の子どもの欠席が減った。

オンライン理科実験特別授業（アメリカ、メキシコ、ポルトガル、日本）でのアプリを使った授業を継続していきたい。

・グループ2 ICTを活用した学校間のつながり（交流学习）、合同授業の実践例を紹介する。

① 平和をテーマとした四つ葉学院×MUSUBIの合同授業（6・7月）

② 天文学をテーマとした四つ葉学院×AG+の合同授業（8月）

③ JOES Davos Next プロジェクト「海」をテーマとした基調講演を利用した ICT 教育の膨らませ方（9月）

④ MUSUBI×EKKA（フランス）との図工・美術の合同活動（10月）

⑤ 立命館小学校×多くの在外校×AG+の交流学习（10月25日～4日間）

国語×音楽×英語×社会×道徳などの「教科横断型授業」として立命館小学校と世界中の補習校・日本人学校を ZOOM で結び、日本の伝統文化と各国の地域文化や特色について、主体的に学んだことを共有し、対話的な活動を通して、学びを深めることを目的として実施した。

北南米の14校ほど（136人）の補習校・日本人学校が参加した。時差の関係もあり在外校の子どもたちは個人参加の形態となったが、実りある交流学习となった。

※多くの補習校・日本人学校の先生方が交流学习に興味を示してくれた。これからも子ども同士が交流できる場を設定していけるよう取り組みを進めていきたい。

・グループ3 ICTを使う環境や ICT を取り入れる良さについて研究する。

補習校等の ICT 活用には下記のような問題点が考えられる。これを踏まえて ICT を活用した授業等が多くの学校で展開できる方策を考えていきたい。

・ ICT 環境の問題（Wi-fi、デバイス）

・ 教員の取り組み意欲の問題

- ・学習者のデバイス使用スキルの問題

- ・各家庭（保護者）への啓蒙

※今後の取り組みとして考えていきたいこと

- ・ICT 初心者研修会（ICT 活用に関する悩み解消の場として）

- ・ICT 活用に関する情報交換会（ICT 活用に取り組んでいる先生方からのアイデア募集）

- ・ICT を活用した授業研究会

- ・オンライン学習システム（Google Classroom 他）を使用している学校の紹介等

2. 1月7日の報告会に向けて

3グループが5分ずつ（計15分）研究報告を行う予定である。今年度の実践（良かったところ、課題等）や来年度の取り組みについてまとめていきたい。

ICT 部会の先生方が普通？の補習校（日本の教科書を使用して授業実施）だけでなく、政府の認可を受けていない補習校、極小の日本語教室、継承語クラス等々、多岐にわたっており、ICT の活用に関する認識の違いがあることから意見交換に思ったより時間がかかった。

ICT 部会のテーマの「補習校で無理なく使える ICT の知恵を提案する」ことを共通理解し、ICT 部会も無理なく ICT の活用を呼び掛ける活動を継続していくことを再確認したところである。

1月7日の報告会の前に ICT 部会臨時ミーティング を12月（未定）に行い（参加は任意で）報告会の内容確認を行う予定である。